

まつしま

議会だより

第137号

平成31年2月1日発行
宮城県松島町議会



仲間と励まし合い、誇りをもって戦いたい（松島中学校バスケットボール部）

- ◇ 議案審議……………P 4
- ◇ 平成30年度各種会計補正予算……………P 6
- ◇ 6人の議員が熱弁（一般質問）……………P 8
- ◇ 町民の声……………P 18

平成30年
第4回 定例会

[12月14日～12月19日]



議長 阿部幸夫

新年のご挨拶

新年の挨拶

明けましておめでとございます。

輝かしい新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃より町議会の活動に格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

議会におきましては、一昨年十二月に町民の皆様への信託をいただいた議員により、本会議、各委員会など積極的に活動してまいりました。

また、議会報告会等においては、町民の皆様からいただいた、ご意見、ご要望をまとめつつ、地域の実情を踏まえながら、町に対し改善を働きかけているところであります。

引き続き、東日本大震災からの復興・創生期間においてやるべき残された事業や少子高齢化、福祉医療の充実、地域の活性化等、松島町の課題を見据え、町民の皆様のご期待に応えられるよう、議員一同、一層努力してまいります。

今後とも、町議会の活動につきまして、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって明るく、そして幸多い年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

松島町議会 議長 阿部幸夫



12月定例会議案審議の様子

議員提案第3号 松島町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
議員の期末手当を引き上げる所要の改正

報告第8号 和解及び損害賠償の額の専決処分報告について
車両修理費として392,130円を支払うことで和解

議案第81号 松島町条例の形式を左横書きにする条例の制定について
全ての条例・規則等を左横書きに統一する条例の制定

議案第83号 職員の給与に関する条例の一部改正について
人事院の勧告に鑑み、職員の給与等の引き上げ等についての改正

議案第84号 松島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う所要の改正

議案第85号 松島町自転車等駐車場条例の一部改正について
駐車車両区分、使用料金についての所要の改正

議案第86号 指定管理者の指定について
名称 松島町児童館及び留守家庭児童学級
団体名 特定非営利活動法人 虹の架け橋
指定の期間 平成31年4月1日～平成36年3月31日

議案第87号 工事委託に関する協定の締結について
協定名 仙石線高城町・手樽間第2磯崎踏切
拡幅工事委託
協定金額 151,092,000円
協定の相手方 東日本旅客鉄道(株)仙台支社

議案第88号 工事請負契約の締結について
工事名 町排水区雨水管渠築造工事
契約金額 117,720,000円
契約の相手方 (株)松村組東北支店

議案第89号 工事請負契約の締結について
工事名 磯崎排水区雨水管渠築造工事
契約金額 192,240,000円
契約の相手方 奈良建設(株)仙台支店

議案第90号 工事請負契約の締結について
工事名 高城浜排水区雨水管渠築造工事
契約金額 80,460,000円
契約の相手方 (株)富士工東日本支店

議案第91号 平成30年度松島町一般会計補正予算(第4号)について
人事院勧告に鑑みた給与の改定に伴う人件費等についての補正

議案第92号 平成30年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
人事院勧告に鑑みた給与の改定に伴う人件費等についての補正

議案第93号 平成30年度松島町介護保険特別会計補正予算(第3号)について
人事院勧告に鑑みた給与の改定に伴う人件費等についての補正

議案第94号 平成30年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第2号)について
人事院勧告に鑑みた給与の改定に伴う人件費等についての補正

議案第95号 平成30年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)について
人事院勧告に鑑みた給与の改定に伴う人件費等についての補正

議案第96号 平成30年度松島町水道事業会計補正予算(第2号)について
人事院勧告に鑑みた給与の改定に伴う人件費等についての補正

議案第97号 松島町監査委員の選任につき同意を求めることについて
丹野和男氏を選任

平成30年 第4回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）
○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 ※阿部幸夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議決月日	採決結果	杉原 崇	櫻井 靖	緑山市朗	赤間幸夫	高橋利典	片山正弘	澁谷秀夫	今野 章	太齋雅一	後藤良郎	菅野良雄	高橋幸彦	色川晴夫	阿部幸夫	賛成	反対
議案第86号	12月17日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	-	11	2

【賛成全員】

議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日
議員提案第3号	12月17日	議案第85号	12月17日	議案第90号	12月17日	議案第94号	12月17日
議案第81号		議案第87号		議案第91号			
議案第83号		議案第88号		議案第92号			
議案第84号		議案第89号		議案第93号		議案第96号	
						議案第97号	12月14日

議案 審議

議案審議

児童館・留守家庭児童学級 指定管理者決まる

平成30年第4回定例会が12月14日から12月19日まで6日間の会期で開催されました。提案された議案は、17件（議員提案、専決処分の承認、条例の制定・一部改正、指定管理者の指定、

工事委託に関する協定、工事請負契約の締結、各種会計補正予算、人事案件）でした。審議の結果、すべて原案の通り可決しました。

松島町条例の形式を左横書きにする条例の制定

色川晴夫議員 この条例

制定で条文を全部横書きにする場合の費用は。

総務課長 今年度はデー
タの構築が主で54万円だ
ある。来年度以降は政策
支援システムや保守業務
も入ってくるので、20
0万円から250万円の
間で想定している。宮城
県の自治体の6割は横書
になっており、今回正式
に整合性をとるというこ
とで条例制定が必要とい
うことで提案した。

全員賛成・可決

指定管理者の指定につ
いて
「松島町児童館及び留守
家庭児童学級」

質疑

櫻井靖議員 「虹の架け

橋」は提案事項のなかで
英語指導を掲げているが、
英語に特化するものを持
っているのか。
町民福祉課長 英語に特
化したという分野はな
い。

赤間幸夫議員 指定管理

者制度を導入する目的は
なにか。
町民福祉課長 利用者の

ニーズに合った事業を民間
業者の発想を取り入れ
実施することにより、町
の子育て支援施策の充実
に大きく寄与するものと
考える。

後藤良郎議員 「虹の架
け橋」の採点内訳は出せ
ないのか。
町民福祉課長 指定管理

に係る点数については、
内訳までは明記しない
ルールがあり合計点数だ
けの記載になる。

色川晴夫議員 職員数が

17名から2名減になるが、
教育内容に支障を来すこ
とはないのか。
町民福祉課長 十分でき

るものと認識している。

菅野良雄議員 費用対効

果及びサービスの充実を
検証するうえで、5年の
指定管理は長いのではな
いか。
町民福祉課長 業務内容

に一定の専門性や継続性
が必要であり、人材の育
成及び確保に一定の時間
を要するため5年とした
ものである。



児童館

今野章議員 指定管理に
なることについては、議
会と同時並行に父兄等に
も説明すべきであったの
ではないか。

町民福祉課長 説明の順
番が前後したのかもしれないが、子供たちに一番
接する職員や臨時職員の方
に早い段階で指定管理
の説明をし、了解を得ら
れることで、子供たちに
安心感を与えられるので
はないかと考え進めたも
のである。

討論

今野章議員

反対

父兄等に対する説
明がないままに指定
管理ということでは手順
が違うのではないかと、ま
た経験の浅い組織に運営
を任せるということであ
れば、指定期間を短くし
て、運営状況を的確に把
握し進めていくというこ
とも大事だったのである
いかと考える、反対の討
論とする。

賛成多数・可決

工事委託に関する協定の締結
 「仙石線高城町・手樽間 第2磯崎踏切拡幅工事委託」

質疑

杉原宗議員 第2磯崎踏切における、小・中学生の自転車通行の安全対策は。

建設課長 安全を促すための看板とか路面標示を早急に設置したい。



拡幅工事をする第2磯崎踏切

櫻井靖議員 工事期間の日程調整について、JR東日本としっかり話し合うことによって、通行止め期間も縮まるのではないか。

建設課長 JR東日本と日程等について話は行っている。この件については再度JR東日本と調整していきたい。

色川晴夫議員 東日本大震災復興交付金事業中、6事業あるJR東日本絡みのうち、4事業が完成もしくは着工中である。残りの2事業は、復興期間中に間に合うのか。

建設課長 霞ヶ浦踏切については、JR東日本と来年の3月まで折衝を進める。松島海岸駅の高城町駅側跨線橋部分の避難道路整備については、現在地権者と折衝している。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結
 「町排水区 雨水管渠築造工事」

質疑

櫻井靖議員 工事期間中の通行止めは、どう考えているのか。工事箇所地域の住民への駐車場対策はどのようにするのか。

水道事業所長 工事は分けて施工する計画であり、全区間の通行止めにはならない。区域内に駐車場を持っている方には、誘導できる体制をとっていききたい。



雨水管渠築造工事をする高城地区

片山正弘議員

今回の工事は、既に避難道路として建設予定の高城桜渡戸線工事と重複しないのか。

建設課長 避難道路の件は、一部用地買収が進んでおらず工事着工までには至っていないのが実情であり重複はないと考えらる。

赤間幸夫議員

住民への説明時期はいつ頃と考えているのか。

水道事業所長 議決後に地域住民への説明を実施し、看板設置など行っていききたい。

赤間幸夫議員

工期について伺う。

水道事業所長 工期を平成31年7月末と予定しており、通行止めは、2月から5月までとしている。

賛成全員・可決

快適な学習環境に 小・中学校エアコン整備へ



質疑

一般会計補正予算
(第4号)

● 町立学校空調設備整備事業
903万円

杉原宗議員 9月議会でも質問したが、国の臨時特別交付金を使って整備されるが、来年夏に間に合うのか。

教育長 実施設計が3か月かかる。3月議会で工事費の概算を示したいが、工事に数か月かかるため、夏には間に合わないと考える。

杉原宗議員 今回の設置は、普通教室のみで、特別教室に設置しない理由は。

教育次長 特別教室は広く、教室利用も少ない。補助率が総事業費の30%を下回り財政負担が多い。

補正予算

● 松島駅前駐輪場改修事業
453万円

後藤良郎議員 1階部分が駐

車場になる。普通自動車の使用料が月極めで5500円、1日300円とのことであるが、両者をどのように振り分けるのか。

また、他町の人でも利用可能なのか。

建設課長 基本的には10台分全部月極めで、空きが出た場合に1日単位で置けるようにもする。

利用者については、指定管理者が公募することになるが、町民優先ということではなく、他町含めて公平に抽選で決定する。

色川晴夫議員 駐輪場内の管理内容は。

建設課長 管理人は朝2時間、夕方2時間の4時間勤務である。防犯カメラも設置している。損害賠償義務については、町では負わない。



改修される松島駅前駐輪場

●風疹ワクチン等接種費用補助金 25万円

赤間幸夫議員 風疹ワクチン

接種の現況は。

健康長寿課長 全国的に風疹

が流行しており、当初15人分を計上していたが、既に30人受けているため助成が増えた。妊娠中の罹患や生まれて風疹症候群でいるような障害を持つお子さんがないように接種の推進を図っていきたい。

●基幹系システム番号対応改修業務委託料 227万6千円

今野章議員 マイナンバー

カードの記載事項の充実を図るためのシステム改修とは。

企画調整課長 住民基本台帳

のシステムにおいて公的書類（住民票の写し・マイナンバーカードへの情報の追加・移動情報）への旧姓併記を可能とするためのシステム改修である。

●臨時保育士賃金 981万6千円

赤間幸夫議員 臨時保育士及

び保育補助員の賃金の補正理由は。

町民福祉課長 当初児童数を

195人、臨時保育士・保育補助員を22人を見込んでいた。しかし、30年の4月の段階で、児童数が204人、現在の入所児童数が215人と児童数の増加があった。当初は児童数の増加に伴って段階的に保育士も増員する予定だったが、想定より子供の数が多かったため、おのずと臨時職員も増やさざるを得ず、見込みより10人増の32人増員したことに伴う補正である。

●その他

色川晴夫議員 予算執行残を

起こさないように職員に精査させているのか。

副町長 課長会議を通じ、職員には話をしている。3月に

向けて、不用額を出さないような補正を組んでいきたい。

観瀾亭等特別会計補正予算 (第2号)

質疑

赤間幸夫議員 今回交付決定

された観瀾亭松島博物館収蔵品修繕事業に対する東日本鉄道文化財団地方文化事業支援助成金とは、どういうものか。

産業観光課長 この財団は、

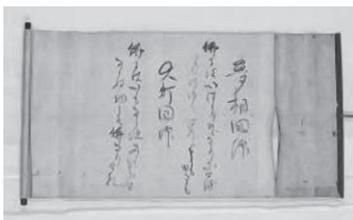
国鉄が民営化された平成5年に設立されたもので、JR東日本エリアの貴重な文化遺産や民族芸能などを保全するための資金援助を行うもので、今回初めて支援を受けられることになった。

今野章議員 観瀾亭の収蔵品

について、今回4点修復することであるが、その前に、果たして本物なのかどうかの鑑定評価作業が必要なのではないか。

産業観光課長 1点1点鑑定

評価は行っていない。理由の一つは財源の問題。収蔵品は533点あり、1点当たりの鑑定費用が7〜8万円が相場なので、全部で3800万円くらいかかる。もう一つは、鑑定評価が必ずしも一律ではない。近隣市町でも一切行っていない。管理をきちんとしていくことに努めていくほか



伊達政宗直筆一幅



伊達政宗書状



伊達政宗書状



薔薇図

人事

監査委員

..... 同意

○丹野 和男氏

66歳(幡谷)



町政Q & A

一般質問 ここが聞きたい!

6人の議員が 11件について質問

杉原 崇 議員 (9ページ)

- ◆ 松島ハーフマラソン大会における今後の考えは

後藤良郎 議員 (10ページ)

- ◆ 除雪体制の検証と改善策について

櫻井 靖 議員 (11ページ)

- ◆ 道路不具合の連絡方法は
- ◆ 近年に建てられた施設に不備、不具合はないか

今野 章 議員 (12ページ)

- ◆ 漁業法等改正の影響は
- ◆ 会計年度任用職員制度への移行準備は
- ◆ 学校教育施設等の環境整備は

高橋幸彦 議員 (13ページ)

- ◆ 災害時、職員の対応は大丈夫か

赤間幸夫 議員 (14ページ)

- ◆ 住宅地等における防火対策は
- ◆ 商工会活動に対する町の支援姿勢は
- ◆ 職員研修と人材育成への考えは

※一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求めること



すぎはら 杉原 たかし 議員

問 松島ハーフマラソン大会における今後の考えは

答 オリンピックも控えており、町民を含め多くの方が参加出来るよう努力したい

問 現在の協力体制は。

産業観光課長 カキ汁のお振る舞いにかかる経費の一部を助成。職員は前日準備、当日の給水やお振る舞いで使用する番所の準備、後片づけなどを担当している。

問 参加者などへの観光対策は。

産業観光課長 松島の牡蠣のPRとして、カキ汁をランナーへ提供している。また松島ハーフマラソンのパンフレットやホームページでイベント等の観光情報を掲載している。今後のイベントがハーフマラソンに参加していただいた方にわかるような取り組みをKHBと話し合いながら進めていきたい。

問 産業まつりなどとのイベント同時開催を通じて、松島の食材のアピールを。

町長 地元の生産者等がもつとブース等に参加できるよう、また地元の食品がPRできるように取り組みたい。

産業観光課長 産業まつりは難しいが、まつりのは小規模なので、地産地消実行委員会に意見を伺う。

問 松島らしいコース設定を。

町長 松島町と東松島市でやってきた経緯があり、通行止め時間帯もあるので、関係自治体、放送会社等と考えなくてはならない。



昨年のハーフマラソン大会

問 子供達の目標つくりのためにも、小学生の大会参加は。

教育長 一小の持久走大会が2年前に中止になったが、現在二小も含め、業間マラソンを実施。五小でも年中走るなど、子どもたちの体力向上に励んでいるが、何か楽しい形になるように計画していきたい。

産業観光課長 費用面やハーフマラソンとの兼ね合いから生じるコースの距離設定、そして時間的な制限に伴い、ハーフマラソンのある大会での同時開催は難しいという回答である。

問 町民の健康増進に繋がるよう、松島独自の参加拡大策を。

健康長寿課長 直接参加しなくても、応援に行くことが生きがいづくりになるし、子供たちへの意識づけとか、夢を育むというものにつながっているのではないかと思うので、いろんな形のご自分に合った健康やスポーツなどを今後も取り組んでいただけけるよう、広報やホームページにも載せていきたい。

産業観光課長 マラソンを完走した後の疲れをいやしてもらうために松島温泉に入っていたり、温泉水の取り組みはできない。関係機関と考えたい。また、まだまだ松島温泉

の歴史は浅く、町内外の方にも知っていただく機会を設けたい。

問 よりよい大会にすることが、町にとつて観光振興や健康づくり、さらに教育までさまざまな面につながっていくと思うが、今後の協力の考えは。

町長 町民の方々が多く参加できるようなシステムを作り、また震災派遣で来てくれたいた職員の方々に声かけしたい。1000キロ縦断リレーマラソンとがあるので、多くの子供たちに参加してもらおうように取り組んでいきたい。オリンピックも活用しながら、できるだけ参加者がふえるように努力していきたい。



かき汁のお振る舞い



除雪体制の検証と改善策について



モデル地区の設定は難しい

建設課長 1日あたりの積雪量を累計した総積雪量は74センチメートル、1日の最大積雪量は19センチメートル、大きな被害はなかった。除雪車の稼働日数は1月と2月に各1回の計2回稼働しており、除雪委託料は1063万4400円であり、過去数年の平均値と比較すると総積雪量は36センチメートル、除雪車稼働日数は1日、除雪委託料は173万3400円多い実績になっている。

問 昨年末から今年の初めにかけての本町の積雪量、被害状況、除雪車の稼働日数、財政負担は、過去数年の平均値とあわせてどのようになっているか。



ごとう よしろう
後藤良郎 議員



除雪車

健康長寿課長 高齢者世帯から地域包括支援センターに直接相談は来っていないが、万が一、大雪で家から出られなくなった場合には要支援者台帳等を使い、町として体制を整える必要性はあると考える。

問 高齢者世帯や障害者世帯に対する除雪及び排雪対策はどのようなものか。

町民福祉課長 障害者世帯については、特段の対策はとっていないが希望する方に融雪剤を配布している。これからも地域住民の方々の協力をいたしながら継続してお願いをしていきたい。

問 小石浜地区には50世帯くらいの方が居住している。高齢者の方が多く、降雪時の除雪が大変であると聞いている。人と機械をかりつけた形で「モデル地区」として除雪対策を考えるべきであるかどうか。

建設課長 国道45号入口から直線で180メートル区間までは除雪は可能であるが、ここから先については狭隘箇所や電柱が点在しているため、除雪車通行ができない。ゆえに「モデル地区」としての設定は困難である。



雪かきをする住民



さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 道路不具合の連絡方法は

答 メール等での受付も活用していく

問 道路の陥没、側溝・ガードレールの破損、防犯灯等の故障など、道路に関係する不具合について、気軽に役場に連絡できる工夫はできないか。

建設課長 道路不具合等については、町でパトロールを行っているが、加えて住民からの情報提供はありがたい。広報誌やホームページを活用してアピールしていきたい。

問 土日や深夜でも対応可能なスマホでの受付はできないか。

建設課長 SNSなどの投稿については、いちいち電話や役場に来なくてもいいので、かなり連絡しやすいと思っっている。夜間の投稿についても、役場庁舎は5時15分を過ぎると閉庁となる。その日のうちに、気づいたときに連絡しやすいと思うのでホームページやメールの活用を考えていく。



道路の陥没箇所

問 住民の要望を受け付けるにしても、町ですぐに対応できること、できないことがあると思う。そのことを町民に理解してもらうことが大切だと思うがどうか。

建設課長 今までの情報提供及び要望内容を確認すると、町でできること、できないことの理解をってもらうことは非常に大切なことだと思っっている。さらに行政区及び地域住民の協力をいたいただいている部分もあるので、理解度が高まるよう周知して行きたい。
また、舗装や側溝新設などについては、行政区と相談しながら実施している状況もあるので、理解してもらえよう考えていく。

問 近年に建てられた施設に不備、不具合はないか

答 利用者の意見を聞きながら総合的に判断・対処していく

問 石田沢防災センターは、テラスの両脇が目の錯覚で階段がないように見えたり、テラスに落下防止柵がなかったり、安全対策はどうなっているのか。また、障害者やお年寄りに優しいスロープの幅や手すりの設置などは考えているのか。

危機管理監 安全対策として注意が必要な箇所については、適宜対応を行っている。高齢者や障害者への配慮については整備基準を満たしている。

今後も利用者の意見を聞きながら総合的に判断・対処していく。
町長 国の検査が全て終わって、新たな施設展開に切りかえるとき、今日の意見等は参考にして、さまざまな面で改良をしていきたい。

問 アトレ・るドームのコートが固くて使いづらい点は把握しているか。

町長 今後どのように改良したらいいのか検討させていただきたい。ただ相当の費用がかかるため、今はそのときではないと考えている。



段差のわかりづらい階段

問 漁業法等改正の影響は

答 現状では影響ない



あきら
今野 議員

問 漁業法等の改正は、養殖漁業などへの大企業の参入を促す法改正といわれているが、本町養殖漁業、地元漁業の現状について、町の認識は。

町長 法改正は、水産資源の減少、生産量や漁業者数の減少傾向等を踏まえ、適切な資源管理と水産業の成長産業化を両立させるため、基本的制度を見直したものと聞く。

本町漁業は、カキ養殖を中心にアサリやアナゴ漁等の沿岸漁業だが、ほとんどが小規模家族経営で従事者の高齢化や後継者問題など経営体が減少している。

産業観光課長 宮城県漁協松島支所の登録組合員数は、平成21年度187名、うちカキ生産者数98名だったが、平成30年現在、組合員数は159名、

一般質問

うちカキ生産者数51名とカキ生産者は半減している。正組合員は62名である。

問 漁業法改正で漁業権の優先順位撤廃、海区漁業調整員の公選制の廃止、漁業許可制度の見直しがされたが、その影響についてどう見ているか。

産業観光課長 漁業権の優先順位撤廃等の影響について、松島支所などで確認したが現状では影響がないとしている。

問 これまで漁業法は、地先で漁業をする者に優先的に漁業権を与えてきた。改正法は、その権利を奪うシステムにもなっている。企業が参入しても地域経済への貢献は少なく、地元の漁業者の利益と相反することになるのではないか。影響は少ないというが再度、町の認識を伺う。

町長 カキの生産者が減っていることを肌で感じる。若い人たちが受け継ぐうえで、町としてどういうサポートができるか、松島支所などでの話し合いを注視していきたい。

問 大事なことは地元の漁業者が地元できちんと漁業が営めて、地域経済に貢献できるようにすること。地域経済の担い手として位置づけ、小規模家族漁業を町としてどう応援するのか、新規就業支援などの施策など必要と思うがどうか。

町長 これまで個々の漁業者への支援は難しく、松島支所に対して補助金を出してきたが、若い人たちが意欲を持って、また脱サラして漁業をやりたいと思うような仕組みを考えてみたい。



松島湾内にひろがるカキ棚



牡蠣を収穫し、漁港へ

今野議員は、掲載の一般質問のほか、
●会計年度任用職員制度への移行準備は。
●学校教育施設等の環境整備は。
についても質問しています。



たか はし ゆき ひこ
高橋 幸彦 議員

問 災害時、職員の対応は大丈夫か

答 広報やホームページで町のPRを続けて、意欲ある職員を確保していく

問 今回の議会報告会で町民の方から、町内在住の職員数はどれぐらいかとの質問を受けた。9月議会の総括質疑の答弁で49%であると答弁しているが、間違いないのか。
また、10年以上前の議会報告会で同じ質問を受けたが、その当時と現在の差はあるのか。

町長 現在の職員の町内在住率は49%である。
総務課長 平成19年以降入庁した職員は町外在住者が増えている。なお、近隣町村でも50%を切っている。

問 ラスパイレス指数が他町村と比べて低いのではないか。

総務課長 勤務経験年数により、給与が決まり、職員の年齢構成にもよる。

問 職員採用で町を希望する受験者をふやせないか。

総務課長 職員採用試験は統一試験でなかなか採用人数をふやせないが、広報やホームページでPRを続けていく。

問 11月4日の防災訓練には、職員はどれぐらい参加したのか。

危機管理監 155人で、参加率は85%であった。

問 その時に、そろいの町章の入った作業服を着ていたが、支給品なのか。

危機管理監 各課で購入しており、各課の使用頻度により複数枚持っている職員もいる。

問 防災服を全職員に支給する考えは。

危機管理監 防災服は防災対策に取り組んでいると明確にするため、三役、総務課長、環境防災班職員が着用した。単価が高いため、腕章等でより目立つ対応を考えていく。

問 災害は昼夜を問わず発生する。夜間用の反射材が必要ではないか。

危機管理監 反射材付きのベストを用意している。
副町長 誘導灯と反射材付きのベストを着用して、現場で活動している。

※ラスパイレス指数とは
国家公務員の俸給月額を100とした場合の地方公務員の給与水準

一般質問



11月4日 松島町総合防災訓練



あか ま ゆき お 赤間 幸夫 議員

一般質問

問 住宅地等における防火対策は

答 消防署、消防団、婦人防火クラブ等と連携し積極的な活動を行う

防火対策は

問 日頃から町民に向け防火対策を、どのようにアピールするのか。

危機管理監 町は、林野火災予防の看板設置や各地区での防災訓練、団体等の研修の場を通じ、松島消防署と協力し啓発活動に取り組んでいる。
また、春秋の火災予防運動の際には、消防団や婦人防火クラブ連合会等と協力し、チラシの配布、広報車による宣伝、SNSを活用した広報活動も行っている。

問 高齢者・子ども・障害者等への配慮策は。

健康長寿課長 介護事業所対象の会議や研修会などの機会を活用し、関係機関と連携のうえ防災意識の向上を図ってきている。

問 空き家・空き地等の管理者に、どう注意喚起を行っているのか。

危機管理監 文書による除草や建物の適正管理の通知、電話連絡での対応促進をしている。

赤間幸夫議員は、掲載の一般質問のほか、職員研修と人材育成への考えは、についても質問しています。



松島消防署

支援姿勢は

問 商工会活動への理解と商工会運営費補助金(継続事業分)として、創業者支援事業補助金等重点6項目の要望が出されているが、予算付けから交付までの事務の流れは。

産業観光課長 産業観光課から当初予算要求を行い、財務課とのヒアリングをもとに、前年度の実績、今後の事業展開等を含め、当初予算編成において予算案が確定していく流れになっている。

問

商工会活動に対する町の支援姿勢は

答

現在支援している施策を理解いただき、条例制定は検討課題としたい

問 小規模企業振興に関する条例制定への取組みをどのように考えているのか。

副町長・産業観光課長 現在実施している支援策を踏まえ、条例制定に係る検討を行いたい。なお市町村の制定状況としては、35市町村中の11市町村が制定に至っている。



利府松島商工会松島事務所

幼児教育の環境整備について

教育民生常任委員会 所管事務調査

松島町では、直面している保育施設の老朽化や保育士不足を解決するために、既存保育所の集約と新たな保育所を新築再編する考えを明らかにした。また、就労の多様化などにより、未満児の入所希望が増え、待機児童が発生していることも保育環境整備促進の理由と考えられる。

当委員会では、町が進めようとしている幼児教育と保育環境の整備が、「松島町子ども・子育て支援事業」の中で早急に取り組まなければならない喫緊の課題と捉え、調査することとした。

◎調査の内容

本町におけるこれからの保育所のあり方に対する取り組み方針の聞き取り調査を実施し、次に県内外の優れた幼児保育施設の現地調査を実施。その後、再度町当局と意見交換を行い、委員会で協議し、調査をまとめた。

(2)先進地視察

- ①川崎町
- 町立かわさきこども園
- ②丸森町
- 丸森たんぽぽこども園
- ③香川県綾川町
- 町立昭和認定こども園
- ④兵庫県福崎町
- 町立田原幼児園
- 私立サルビアこども園

◎調査結果

(1)町への聞き取り

本町の保育施設は老朽化が進んでおり、平成32年度までに高城保育所を改築し、松島保育所・磯崎保育所・高城保育所分園は集約し、新築された施設の中で運営していく考えである。なお、新設の保育所については民間の参入も視野に入れて検討する考えである。

◎まとめ

松島町では、幼児保育施設の老朽化や保育士不足など、早期の解決策が望まれているため、町当局より3回にわたる聞き取りと県内2ヶ所、県外3ヶ所の先進地視察を実施し、協議を行い、町当局に対し、次の通り提案した。

- ①一時的な対策ではなく、将来を見据えた既存施設の改築および新設を強く望む。
- ②保育所の集約について、保育対象の保護者のみならず、地域の人たち



視察調査 香川県綾川町



視察調査 兵庫県福崎町

- ③保育施設を改築・新設する際には、ゆとりある設計とし、園庭・駐車場も広く、様々な行事に対応できる、松島らしい特色ある施設を望む。
- ④気持ちよく働ける施設であることが職員確保に繋がっていくものと考えられるため、施設を作るときは、現場職員の意見を充分に取り入れるべきである。
- ⑤民間保育所を新設する場合は、対象事業者と
- ⑥改築・新築に係る進捗状況については、議会・保護者等へ速やかに情報提供を行うべきである。
- ⑦「子どもたちのためにどうあるべきか」を基本に、子どもの発達、興味に応じた遊びができるように環境を工夫し、家庭との連携を深めながら、子ども一人ひとりが笑顔で充実した生活ができるように一層努めていただきたい。

議会運営委員会 研修レポート

視察研修期日

平成30年10月22日～23日

①秋田県南秋田郡五城目町議会
視察研修内容

- (1) タブレット端末導入
議会改革調査特別委員会より、ペーパーレス化や経費節減の観点から、タブレット導入を目指すべきという報告を受け、平成28年6月定例会より導入。
- (2) インターネットによる議会の映像配信

平成24年7月に第1回目のライブ中継のデモを実施、同年10月執行部側も参加した第2回目のライブ中継のデモを実施した。平成25年10月に議会映像配信に関する要綱を作成、同年12月定例会より配信を開始した。

所感

(1) タブレット端末導入

ペーパーレス化による印刷費用の削減、職員の事務負担の軽減、連絡の迅速化、情報の取得、スケジュールの共有などのメリットが考えられるので導入を検討すべきである。

(2) インターネットによる議会の映像配信

宮城県内21町村のうち16町村で実施している。町政への住民参加の視点においても映像配信は重要であり、町当局に対し財源対策を含め、検討するよう望みたい。

②秋田県にかほ市議会
視察研修内容

- (1) 議会活性化に向けた取り組みとして、平成23年10月に議会基本条例を施行。さらなる改革のために議会改革推進会議を設置。議会報告会を充実させるために広報広聴を基本条例に盛り込むことや議会だよりを読んでもらうためにモニター制度を設置するなど政策を準備している。
- (2) 議会のICT化推進については、インターネット配信を平成30年12月に試験運用を行い、タブレット端末については4～5年かけて導入予定である。

所感

にかほ市は議会活性化やICT化に向け一環した取り組みを行っている。本町としても参考にしながらよりよい議会運営を行って行きたい。



にかほ市議会を視察

広報広聴常任委員会広報分科会 研修レポート

①全国町村議会広報研修会

研修期日 平成30年10月10日
研修場所 シェーンバツハ・サポール
(東京都千代田区永田町)

主催 全国町村議会議長会

研修内容

- (1) 「読み手に伝わる文章の書き方」
講師 朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部長 前田安正
- (2) 「デザインの力でもっと伝わる議会広報誌に」
講師 (株)コンセント アートディレクター 筒井美希
- (3) 「最優秀賞及び優秀賞作に見る光彩を放つ編集力」
講師 グラフィックデザイナー 長岡光弘

②埼玉県滑川町議会広報対策特別委員会との意見交換会

研修期日 平成30年10月11日
研修場所 埼玉県比企郡滑川町役場庁舎

研修内容 「なめがわ議会だより」の編集について

所感

今回の視察では、「なめがわ議会だより」の編集方法、発行までのスケジュール等についての説明があり、その後意見交換を行った。特に印象的だったのは、滑川町議会



滑川町議会との意見交換

では、議会だよりの最終校正は、委員全員が印刷業者へ出張校正に行き、レイアウトや色味の微調整を行っている点である。

印刷所に向き、紙面を直接見ながら指示をすることで、細かな修正が行える。しかしこの編集作業では、編集委員、印刷業者ともに労力を要するため、今後の検討課題としていきたい。

その他、編集のたたき台ができた時点で、執行機関に確認・修正を依頼して原稿の正確性を高めていることや、担当を完全分担制としていることで効率化を図るなど工夫をしている。

滑川町議会では、音源から委員が文字起こしをしている。当町議会のように議事録を基にした編集作業ではないので、編集手法に違いが生じるのは当然のことと考える。意見交換の中で、滑川町議会でも議事録を基に編集作業が出来ないか検討したいという話もあった。

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

平成30年10月5日
(月)、平成30年第3回
塩釜地区消防事務組合議
会が開催された。

行政報告

塩釜地区消防事務組合管
内

火災発生件数 29件
前年同月比較 9件増
救急出動件数 6075件
前年同月比較 67件増
(平成30年1月から8月
まで)

要介護認定審査判定状況
審査会開催数 115回
審査認定数 3433件
障害者支援区分審査判定
状況 3433件
審査会開催数 15回
審査認定数 153件
(平成30年4月から8月
まで)

塩釜地区環境センター業
務実績
し尿及び浄化槽汚泥搬
入量 3764トン
(平成30年4月から8月
まで)

塩竈斎場利用実績
886件

(平成30年4月から8月
まで)
平成29年度各種会計決算
認定

一般会計歳入決算額
22億2298万
一般会計歳出決算額
21億9290万

2823万
全員賛成、原案の通り認
定可決

その他各特別会計決算
認定についても、全員賛成
原案の通り認定可決され
た。

財産の取得

取得理由
火葬場建設に係る事業
用地として

所在地
利府町森郷字名古屋
取得金額
1360万円

一般質問
災害現場職員派遣状況
について

片山正弘 議員
後藤良郎 議員

宮城東部衛生処理組合議会

平成30年10月24日
(水)、平成30年第3回
宮城東部衛生処理組合議
会が開催された。

行政報告

管理者よりごみの搬入
状況等及び各施設の運転
維持管理について大きな
トラブルなく良好に稼働
の報告があった。

焼却灰、排出ガス中の
放射性物質濃度及び埋立
地浸出処理水、地下水、
各施設敷地空間放射線量
の測定結果は、ヨウ素1
31が不検出。その他に
についても基準以内もしく
は不検出だった。

平成29年度各種会計決
算認定
歳入決算額
9億3937万
歳出決算額
9億1915万

6663円
全員賛成、原案の通り認
定可決

また、平成30年度補正
予算(第1号)について
も全員賛成、原案の通り
認定可決された。

先進地視察研修
平成30年11月21日・22
日プラスチック容器包装
等の再商品化施設の現状
及び焼却施設の延命対策
を目的に先進地視察研修
を実施した。

視察先
青森県
青南商事青森支店
岩手県
盛岡・紫波地区環境
施設組合



盛岡紫波地区環境施設組合を視察

今野章 議員
櫻井靖 議員

議会活動

◆主な活動内容

9月25日 一般会議 行政区長との意見交換会
10月3日 二市三町議長団連絡協議会視察研修
10月4日

10月22日 宮城県町村議会議長会新議員研修会
10月29日 宮城黒川地方町村議会議長会委員長
研修会

11月6日 人口減少社会と県政運営に関するセ
ミナー

11月15日 宮城黒川地方町村議会議長会表彰
式・研修会

※本町議会事務局 千葉義行事務局
長が表彰を受けました。

11月21日 第62回町村議会議長全国大会
11月26日 一般会議 利府松島商工会役員との
意見交換会

10月13日 町内12ヶ所で開催
11月20日

その他
幼稚園等の運動会、
各小学校の学芸会・
学習発表会に招かれ
見学した。
また、各常任委員
会、議会運営委員会
が開催された。



宮城黒川地方町村議会議員研修会

町民の声



わたなべ ちから
渡邊 力さん
(高城)

事故や事件の無い地域に

高城区会では、事業活動の環境として区民の安全・安心な生活の推進を図るため、防犯夜間パトロールに取り組み、活動を続けてきました。

さらに、平成十六年に行政員による「高城地区安全・安心パトロール隊」を発足し高城地区十八地区の行政員が巡回しています。

巡回中は、高齢者の買い物帰りの人や一人歩きの人、無灯自転車への注意を行うとともに、夕方の小・中・高校生の下校時さらには、少し遅く帰る部活動後の生徒の交通事故防止や不審者の監視を強めています。

巡回は、暑い日や雪の日もあり、突然の冷たい雨や厳しい寒い日もあり身体にこたえます。



高城地区安全・安心パトロール

す。それでも多くの方々からいつも「ご苦労さん」や「うちの孫達が安心して通学出来ます」など、応援の声をいただきと頑張る気持ちが湧いてきます。

これからも、事故や事件の無い地域で過ごせるよう行政員が一致団結し、健康に気をつけパトロールを続けて行きたいと思えます。

町民の皆様、議会の皆様、これからもご協力をよろしくお願ひ致します。

表紙を飾られた皆さんからのメッセージ

松島中学校

男子バスケットボール部

部長 **中村 昂司**

僕たちは、新人戦で一勝もすることが出来ませんでした。

そこで僕たちに足りなかったところを考え、不足しているところを中心に練習しています。

六月には、最後の中総体があります。松島町唯一の中学校男子バスケットボール部として誇りをもって戦ってきたいと思えます。

女子バスケットボール部

部長 **山形 虹心**

私たちは、中総体「一勝」を目標に日々練習に励んでいます。

去年の新人戦では惜しくも目標にとどまらなかった。

最後の中総体に向け、仲間と励まし合い練習に取り組んでいきたいと思えます。

次回の定例会は

3月1日(金)

13時の開催予定です。
ぜひ、傍聴においで下さい。



平成30年度議会報告会に多くの皆さまにご参加いただきありがとうございました。

編集後記

平成31年年頭の一節として、瑞巖寺住職吉田老大師より賜わりました色紙

一以貫之

「いちをもつてこれをつらぬく」これは、孔子の言葉であり、この世の全ては一に帰るがその一はどこへの禅の公案がある。又「いまだ生を知らずいづくんぞ死を知らん」の論語。死の意味を詮索するより、まず先に与えられた生(今日という一日)を力の限り生きてみようとの孔子の説示で、変化し転換続ける現代社会の事象に真正面から向き合い柔軟性をもって対処して行く事である。世界でたった一人の私と云う人間が今日一日を有意義に生きる事で、おのずから歩んできた道が「一を以って之を貫いた」道となって輝くと書いてあります。

今年元号が変わる節目の年であり、この言葉の様に議員一同更なる町発展の為、一生懸命努めてまいれる所存でありますので、今年もよろしくお願ひ申し上げます。(色川晴夫)

広報広聴常任委員会 広報分科会

- | | |
|-----|-------|
| 委員長 | 櫻井 靖 |
| 委員 | 杉原 崇 |
| 委員 | 線山 市朗 |
| 委員 | 瀧谷 秀夫 |
| 委員 | 太齋 雅一 |
| 委員 | 後藤 良郎 |
| 委員 | 色川 晴夫 |